

市バスの新たな運行ミス等の防止対策

主な要因	防止対策			
	分類	これまでの取り組み	平成26年5月15日以降の新たな取り組み	平成27年度実施に向けて検討・改善する取り組み
共通 ○組織的な防止対策の取り組みが不十分 ○運行ミス等を防止するための確認手順などが定められていない ○混成ダイヤや余裕のない仕業ダイヤ ○運行ミス等の防止に関する乗務員への指導・教育体制が不十分 【今後検討すべき課題】 ◆始業点呼の実施方法 ◆運行ミス等防止のため確認方法のルール化やそのチェック体制 ◆運行ミス防止に対する意識の徹底とその共有 ◆路線誤認が多く発生するような複雑なダイヤの構成	業務管理・体制	・ダイヤ見直しの検討	【混成ダイヤの一部見直し】 混成ダイヤについて、取り急ぎ、発生割合の高いダイヤの見直しを行う。	【仕業ダイヤの改善】 【始業点呼の実施方法の改善】
	ルール・手順・マニュアル		【運行ミス等発生時の対応マニュアルの周知・配布】 運行ミス等が発生した際の対応・手順などを記載したマニュアルを、各営業所に配布（スタッフダイヤ板の裏面に貼り付けて使用）。	【運行ミス等防止のための確認事項・手順などを掲載した乗務員向けの乗務マニュアルの作成】 【運行ミス等の防止及び惹起者への指導・教育などに関する職制・助役向けの指導マニュアルの作成】
	指導・教育(本庁)	・ドライブレコーダーの活用拡大 ・運行ミス件数の把握 ・運行ミス件数の公表 ・局長による現場職員との意見交換 ・24年度の第4四半期頃から、各営業所の分析や再発防止策を公所長会や事故防止・サービス向上研究会で持ち寄り、事案の共有と再発防止策の水平展開を開始 ・3か月に1回、各営業所が行った運行ミスを分析し、本庁で集約 ・事故防止・サービス向上研究会の場で、再発防止策の情報共有やスタッフダイヤ板への工夫などの情報を水平展開		【惹起者向けの体系的な研修・指導・教育の実施】 【局一体となった教育訓練の効果的な実施と運行ミス等防止への問題意識の喚起】
	職員の意識向上			【職員が自ら積極的に安心・安全・快適な市バスの運行を実践するようなモチベーション向上策の検討・実施】

主な要因	防止対策																			
	分類	これまでの取り組み	平成26年5月15日以降の新たな取り組み	平成27年度実施に向けて検討・改善する取り組み																
共通 ○運行管理者から乗務員への指示・注意事項が不十分 ○運行中に運行経路や時刻などを確認するきっかけが不十分 ○仕業の中で行先が変わるダイヤだった ○スタッフダイヤ板によるアプローチが弱い 固有 (運転免許証不携帯) ○点呼支援システムに関して、運転免許証の置き忘れを知らせる機能がなかった。 ○運転免許証をホルダーから出して点呼を受けたものの、点呼執行者からは、収納の確認がされていなかった。 (基幹バスレーン逆走) 国道と市道の交差点につき、カラー舗装が施されていない (燃料切れ) 前日に給油がされていなくても、翌日にそのまま出庫できた	機器・設備等 (点呼)	<ul style="list-style-type: none"> 点呼支援システムの試行導入(24年度) 点呼支援システムの本格導入(26年度) 	【点呼支援システムに運転免許証の置き忘れを知らせるアラーム機能を付加】 運転免許証を読み取り器に30秒以上設置したままの場合、アラームによって知らせてくれる機能を付加。																	
	走行環境等改善	<ul style="list-style-type: none"> 他都市、他事業者の調査 他都市、他事業者の取り組みの調査継続 路線誤認を発生しやすい分岐手前のバス停で、経路地等の案内を自動音声に入れ、お客様と乗務員に注意喚起する取り組みを全営業所に拡大 ダイヤ板をバス停ごとに時刻を記したスタッフ形式に変更 スタッフダイヤ板の工夫 運行の指示が記載されているスタッフダイヤ板の色分け、右・左折・直進の矢印や経路などのマーク等を付記するなどの工夫により、乗務員の見間違いや確認不足を防止 基幹バスレーン赤塚交差点手前のバス停に注意喚起を掲出 	【基幹バスレーンの赤塚交差点内にカラー舗装を実施】 【安全確認放送装置の設置・拡大】 乗務員への音声による注意喚起により、運行前に行先・経路地等の再確認、サイドブレーキ引き忘れ防止、車内点検の励行などを図る。	【運行中の乗務員のミスを防ぐための仕組みの整備】 【スタッフダイヤ板の改善】																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>作動条件</th> <th>注意喚起放送</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①エンジン停止状態</td> <td>(警告音)</td> </tr> <tr> <td>②パーキングブレーキ解除状態</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>③ブレーキペダルを離す</td> <td>パーキングブレーキ確認!</td> </tr> <tr> <td>①車両のメインスイッチを入れる</td> <td>運転免許証は携帯していますか?</td> </tr> <tr> <td>②キースイッチでエンジン始動</td> <td>系統設定入力は確実に行われていますか? 行先と時間の再確認をしてください。 (営業出庫前を想定)</td> </tr> <tr> <td>①キースイッチでエンジン停止</td> <td>終点では必ず車内点検を実施してください。</td> </tr> <tr> <td>②パーキングブレーキ作動</td> <td>(終点での停車措置を想定)</td> </tr> </tbody> </table>	作動条件	注意喚起放送	①エンジン停止状態	(警告音)	②パーキングブレーキ解除状態	+	③ブレーキペダルを離す	パーキングブレーキ確認!	①車両のメインスイッチを入れる	運転免許証は携帯していますか?	②キースイッチでエンジン始動	系統設定入力は確実に行われていますか? 行先と時間の再確認をしてください。 (営業出庫前を想定)	①キースイッチでエンジン停止	終点では必ず車内点検を実施してください。	②パーキングブレーキ作動	(終点での停車措置を想定)	
作動条件	注意喚起放送																			
①エンジン停止状態	(警告音)																			
②パーキングブレーキ解除状態	+																			
③ブレーキペダルを離す	パーキングブレーキ確認!																			
①車両のメインスイッチを入れる	運転免許証は携帯していますか?																			
②キースイッチでエンジン始動	系統設定入力は確実に行われていますか? 行先と時間の再確認をしてください。 (営業出庫前を想定)																			
①キースイッチでエンジン停止	終点では必ず車内点検を実施してください。																			
②パーキングブレーキ作動	(終点での停車措置を想定)																			
			【日常点検の項目に燃料確認の追加及び日常点検票の様式の見直し】 日常点検の点検事項に燃料計の確認を追加。 日点検票に燃料計確認の項目を追加。																	

主な要因		防止対策			
		分類	これまでの取り組み	平成26年5月15日以降の新たな取り組み	平成27年度実施に向けて検討・改善する取り組み
外的要因	(車両流動) パーキングブレーキがかか かかっていない状態を知ら せるしくみがなかった			<p>【無線による注意メッセージの配信方法の見直し】 毎月の「交通死亡事故ゼロの日」や年4回設定してい る「交通安全運動」など、乗務員の安全確保・法令遵 守への意識が一層高まることを見込める時期に、バス 運行総合情報システムを使った無線による注意メッ セージを配信する。</p> <p>【ハンドプレートの掲揚などによる注意喚起方法の 見直し】 バス路線分岐点の手前のバス停や路線誤認の多発箇 所等において、ハンドプレートの掲揚などによる注意喚 起を実施。</p>	
	指導・教育(現場)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 惹起者に対する個別指導 ・ 6月を運行ミス等防止強化月間と し、局を挙げて運行ミス防止対策 を実施 ・ 間違いやすいバス停や通過しや すいバス停などを点呼、掲示、業 務習得等で周知(如意、中川、鳴 尾) ・ 惹起者への添乗やドライブレコーダ ー映像での追跡確認による継続的 な指導(如意) <p>上記の取り組みを全営業所に水平展 開し、継続実施</p>			
	運行管理者など の意識・動作等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月を運行ミス等防止強化月間と し、局を挙げて運行ミス防止対策 を実施(再掲) ・ 運行ミス事例の発生傾向等を分析 し、乗務員に情報共有 ・ 経路分岐点手前のバス停の車道側 へ、「行先確認」のステッカーを 貼付して、乗務員に注意喚起を促 す(中川、大森) ・ 間違いやすい地点等での注意喚起 ・ ハザードマップを作成し、乗務員 に情報提供 <p>上記の取り組みを全営業所に水平展 開し、継続実施</p>			

主な要因		防止対策			
		分類	これまでの取り組み	平成26年5月15日以降の新たな取り組み	平成27年度実施に向けて検討・改善する取り組み
内的要因	共通 ○思い込みや勘違い ○運行内容等ダスタッ フイヤ板の確認不足 ○運行の遅れによる焦り ○決められた手順の未 実施	乗務員の意識・ 動作等	・乗務員が次停の車内アナウンスを 行うことで、お客様へのご案内と 合わせて、乗務員自身の分岐先経 路の間違いを防止する ・スタッフダイヤ板の確認、バス停 通過時の停車・徐行の徹底、方向 幕の確実な入力と運行前の再確 認、駐車措置の徹底、終点での車 内点検の徹底	【意識づけをするため、点呼では、仕業ダイヤ・注意 事項などを自己唱和】 【日常点検における燃料計の確認】	【安全かつ適正な運行のために定める事項（確認事項・ 手順・場所など）に基づいた確認の確実な実施】
	固有 （信号無視） コンプライアンス意識が 不十分だった				